

船堀駅前地区まちづくり意見交換会の開催概要

「船堀駅前地区まちづくり基本構想（R5.3 策定）」で示す基本方針の実現を目指し、船堀街道（シンボルロード軸）の“日常時の姿”や“災害時の視点”について意見交換を行いました。

オープンハウス型意見交換会の開催概要

船堀駅北口広場で当地区のまちづくりなどに関するパネル展示とシールアンケートを行いました。地域や駅を利用される方など、幅広い世代の方にご参加いただきました。

	第3回意見交換会	第4回意見交換会
開催日	8月20日（日）・25日（金） （2日間・延べ2回）	10月15日（日）・18日（水） （2日間・延べ2回）
場所	タワーホール船堀	船堀コミュニティ会館
話し合ったテーマ	船堀街道（シンボルロード軸）の 日常時の姿	船堀街道（シンボルロード軸）の 災害時の視点
参加人数	20名	22名

開催日	令和5年11月10日（金）～11月12日（日）
場所	船堀駅北口駅前広場
内容	・まちづくりや新庁舎整備計画に関するパネル展示、意見交換 ・シール式アンケート
来場者	延べ約650人



はじめに船堀グリーンロードの歴史や整備の経過を共有しました



その後、グループで意見交換を行いました



最後に挙げられた意見のまとめを行いました

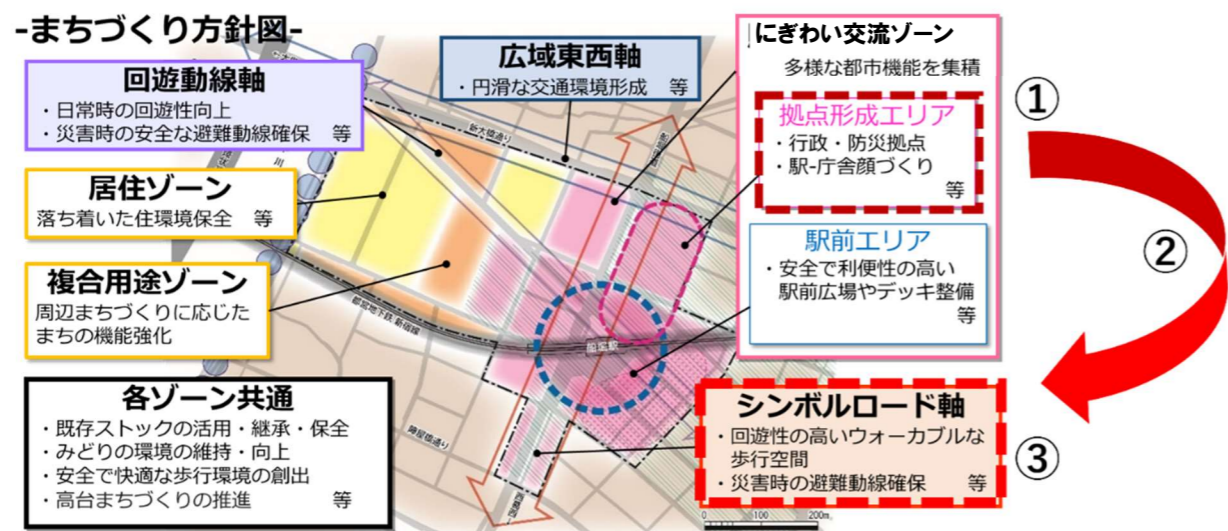


幅広い世代の方にご参加いただきました



アンケートでは様々なご意見を頂きました

< 「船堀街道（シンボルロード軸）」を意見交換のテーマとした背景 >

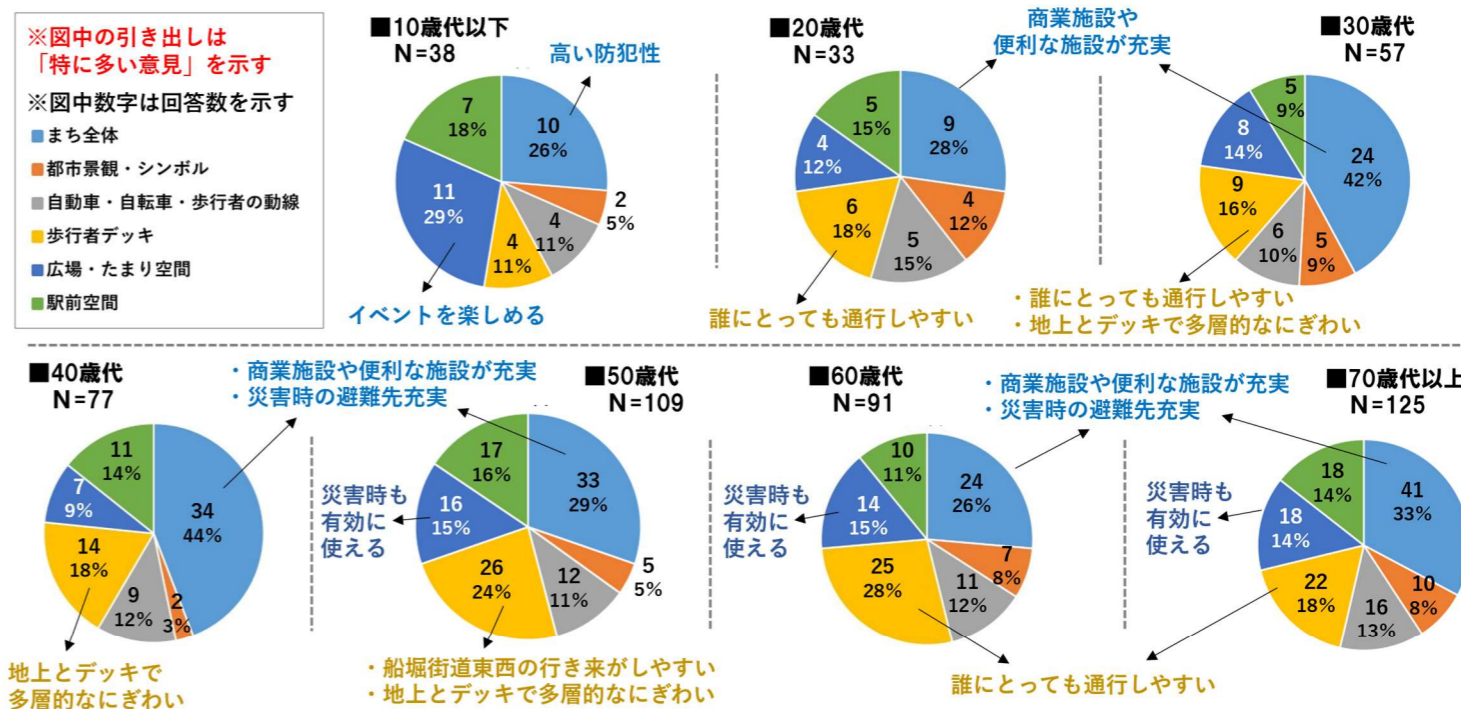


①先行地区として、新庁舎整備を含む「拠点形成エリア」の整備を推進する

②他ゾーンへの波及を目指す

③まずは拠点形成エリアからつながる「シンボルロード軸」について意見交換し、イメージを共有する

～ 年代ごとに多かった意見の“傾向” ～ （シールアンケートの回答より検証）



年代別の意見傾向

- 10代はイベントを楽しめる広場を望む声が多い
- 20代以上で共通して「商業施設や便利な施設の充実」が多い
- 20・30代や60・70代では、歩行者デッキに対して「誰にとっても通行しやすい（バリアフリー）」が多い
- 30～50代で「地上とデッキで多層的なにぎわい」を望む意見が多い
- 40～70代以上で「災害対策の充実」が多い

・皆様に頂いた意見を「まち全体」「都市景観・シンボル」「自動車・自転車・歩行者の動線」「広場・たまり空間」「駅前空間」「歩行者デッキ」の分類に整理しました
 ・船堀街道東側（図では下側）のまちづくりに留まらず、西側（図では上側）を含めた東西一体でバランスが良く、より良い街になることを望む声が多数寄せられました
 ・区では、皆様に頂いたご意見を踏まえながら、当地区の具体的なまちづくりを進めていきます

※緑字：第3回意見交換会での意見（おもに日常時） 青字：第4回意見交換会での意見（おもに災害時） 黒字：『オープンハウス型意見交換会』での意見

